

平成23年度 近畿大学校友会定期総会 挨拶



校友会会長 亀岡 弘

9月29日突然、近畿大学理事長・校友会名誉会長世耕弘昭先生のご逝去のお知らせを受けたただ驚くばかりでした。まだまだお元気で大学の執務にご専念されておられるものと思っておりましたのに、誠に無念の思いで一杯でございます。生前は、私たち校友会に対し、温かいご薫陶とご指導・ご支援を賜り深甚の謝意を表すと共に、在りし日のお姿を偲び心からご冥福をお祈り申し上げます。

平成23年度校友会本部定期総会を開催いたしましたところ諸事で多端のなか大学本部から世耕弘成理事長・校友会名誉会長、畑博行学長並びに多くの役員・先生方のご臨席を賜り厚くお礼申し上げます。平素は母校並びに校友会の発展にご協力、ご尽力を賜り深く感謝申し上げます。

本年3月11日に発生しました国難とも言える未曾有の東日本大震災に宮城県支部の方々が遭遇し、随分多くの方々が被災しました。いち早く救援金を募り、宮城県支部にお届けさせて頂きました。救援募金のご協力ありがとうございました。

大震災が発生してから7ヶ月以上経ちますが、まだまだ復興が進まぬこの時期に定期総会を開催いたしますのは誠に心苦しいところでありますが、校友諸先輩の皆様方ならびにご家族の方々は昨年引き続き、このように沢山ご参集頂きました。厚くお礼申し上げます。

さて、校友会の近況につきましては、昨年来、特別委員会を設置し、校友会の将来像について検討している中から会則についての審議が取り沙汰され、会則審議委員会に委ね、その後、執行部会議、幹事会議の議を経て大幅な改正を行いました。特に、役員任期は2ヵ年となります。

卒業生総数は、平成22年度(本年3月)の卒業生を入れますと約45万余人となり、現在、活動している支部は、本年度設立されました3支部を含めて地域支部92、職域支部60、専門職支部2、同窓会19、支部合計173と梅友会があります。

また、支部・同窓会とは別に支援団体として「全国経済産業リーダーズクラブ」が、母校が推し進めています「産・官・学」連携事業に寄与するため、母校のキャリアセンター、リエゾンセンターと協力し、学生の就職並びに各地域産業の発展のために、また母校と企業間の技術および人的交流を深めるよう努力しております。

次に大学の近況につきましては、畑学長からお話があるものと存じますので、割愛させていただきますが、本年新しく設置されました建築学部を入れますと13学部48学科となり、院生を含む学生数は、4万人を上回っています。平成23年度の入学志願者は11万人を突破し、全国で第2位であったと報告を受けております。また、世界的に著名な素晴らしい研究が次々と発表され、学生生活の充実と相まって総合大学として揺るぎなき地位を占めるようになってまいりました。

私たち母校は日進月歩素晴らしい発展を遂げていますが、私たち校友会も変えるべきところは変え時代にマッチした校友会を構築しなければなりません。そのためには、近畿大学の卒業生として校友会への帰属意識と校友としてのプライドをしっかりと持ち、自分の職業ならびに地域社会に貢献することです。私たち校友会では校友としての証しに徽章を作成し襟に付けています。一人でも多くの卒業生にこの徽章を付けてもらいたいものです。この徽章を付けることによりさらに近畿大学の校友としての品位を保ち、責任ある行動をとり、尊敬され、信頼される校友として校友会の発展に寄与すること間違いのないでしょう。徽章については校友会本部あるいは各支部にお言付け下さればと存じます。

最後になりましたが、母校近畿大学のますますの発展と本日ご参会の皆様方のご健勝とご多幸をお祈りし、ご挨拶とさせていただきます。